

科目名	音楽Ⅰ	履修学年	1 学年 (必修)・選択)
教科担任	北 森 康 義	単位数	2 単位
教科書名	MOUSA 1 (教育芸術社)	副教材	Music Navigation (教育出版) (音楽史・楽典・ノート)
教科目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
学習方法	教科書及び副教材を中心にしながら、歌唱・器楽・創作・鑑賞・楽典・音楽史など幅広い単元を学んでいきます。<u>※中学校で使ったアルトリコーダーが必要になります。</u> 各単元、最初の時間に、単元の流れやゴール、評価のポイントについて説明します。 <u>普通科目のような定期試験は行いません。</u> <u>単元ごと筆記・実技の試験や、レポート提出によって評価を行います。</u>		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。(評価の割合 3.5 割)	b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他(課題達成表)
②思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。(評価の割合 3 割)	b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。(評価の割合 3.5 割)	b 授業態度 c 課題・プリント

※評価方法【a 試験 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】
特に重視する方法

年間学習計画

単 元	オリエンテーション&歌唱：”校歌”を歌おう！！ （予定時数 7 ）
主な学習内容（活動）	・中学校での学びを振り返りながら、高校での授業内容、一年間の流れについて理解します。 ・穂別高校の校歌について学びながら基本的な歌い方や歌詞の重要性について勉強します。
評価の観点と評価方法	① ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。
	② ・旋律や強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
	③ ・（教材曲や曲種などの特徴、学習内容など）に関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

単 元	器楽&楽典：”CUPS”（リズムトレーニング）に挑戦！！ （予定時数 6 ）
主な学習内容（活動）	身近にある紙コップなどを用いたリズム表現を通して、基本的な楽譜の読み方を再確認しつつ、音色や、奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わいます。
評価の観点と評価方法	① ・曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。
	② ・音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。
	③ ・曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

単 元	鑑賞：“動物の音楽”を楽しもう！！（音楽を形づくっている様々な要素） （予定時数 8 ）
主な学習内容（活動）	いろいろな曲の「曲想」や「表現上の効果」が、どのような音楽の要素の働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを味わいます。
評価の観点と評価方法	① ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。
	② ・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	③ ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単 元	創作：“いろいろな音階”や“コード進行”をもとに メロディーを作ってみよう！！（予定時数 8 ）
主な学習内容（活動）	日本の伝統的な音階や、多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、様々な手法を活用しながらイメージをもって創作活動を行います。
評価の観点と評価方法	① ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律を作ったりする技能を身に付け、創作で表している。
	② ・音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
	③ ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。

単元	器楽：表現を工夫して”リコーダー”を演奏しよう！！ (予定時数 9)
主な学習内容（活動）	リコーダーの基本的な扱い方や指番号を学びながら、リコーダー達成表に取り組みます。最終目標は課題曲と創作単元で作った自由曲の発表会です。
評価の観点と評価方法	① ・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ② ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ③ 曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

単元	鑑賞：いろいろな”舞台芸術”を知ろう！！ (予定時数 8)
主な学習内容（活動）	世界の舞台芸術3種と日本の舞台芸術3種、合計6種について、各担当を決め調べ学習をしてもらいます。その結果をパワーポイントとして発表し、最終的に小テストを行います。
評価の観点と評価方法	① ・各種舞台芸術における音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ② ・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③ ・各種舞台芸術における音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単元	器楽：初めての” ギター入門” (予定時数 8)
主な学習内容（活動）	ギター達成表を使って、その基本的な奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解しながら、表現を工夫した演奏を目指します。
評価の観点と評価方法	① ・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。
	② ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。
	③ ・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

単元	音楽史：クローズアップ・マエストロ ” バッハ VS モーツァルト！！” (予定時数 8)
主な学習内容（活動）	J.S.バッハや W.A.モーツァルトの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を比較検証してもらいます。
評価の観点と評価方法	① ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。
	② ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	③ ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単元	歌唱：“合唱”卒業式に向けて式歌を学ぼう！！ (予定時数 8)
主な学習内容（活動）	卒業式歌を取り上げ、各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱をする喜びを味わいます。
評価の観点と評価方法	① ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱という表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 ② ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ③ ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱という表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。